事業番号	09 02 03	事業改善シート(27年度実施事業分)	口予算要	東求	口当初予算案	₹ □補正予算案	■点検
事業名	長野県原産地呼称管理制度運営事業費				部局	産業労働部	
尹 未 石					課·室	ものづくり振興課日	本酒・ワイン振興室
総合5か年 計画	プロジェクト			課	E-mail <u>jizake@pref.nagano.lg.</u>		agano.lg.jp
	施策の総合的展	1-3 夢に挑戦する農業					
II	旭泉の総百円成	信州ブランドの確立とマーケットの創出		実施期間		H14	~

## 1 事業の概要

・農産物の「大きさ・色・形」等の既存の規格ではなく、農産物の価値を計る基準を「味覚・栽培方法・生産方法」等に求め、消費者の視点で策定、表示していくことによって、長野県産農産物のブランド化を推進する。・制度や認定品のPRを実施することにより、県産農産物の販売促進を図り、農業者の所得向上につなげる。

## 現状 (予算編成 時)

○平成25年度: 認定数346品(ワイン・シードル:105 品、日本酒:181品、焼酎:22、米:38品) 管理委員会の開催:1回、専門部会の開催:3回、品目別委員会の開催:12回(日本酒:4回、焼酎:2回、ワイン:2回、米:4回)、 品目別官能審査委員会の開催:7回(日本酒:3回、焼酎:2回、ワイン:2回、米:2回)

○平成26年度:第2回県政モニターアンケートの認知度(37.9%)

実施中

県が関与 する理由 【左記の説明、根拠法令等】 県関与の必要性あり

長野県食と農業農村振興計画、信州農産物マーケティング戦略プラン、長野県原産地呼称管理 要綱原産地呼称管理制度認定品の生産者等とともに、県内外への制度PR等を展開

① 成果目標(H27)

県民との協働による実施:

・県政モニターアンケートの認知度40%(平成26年度県政モニターアンケートでの認知度37.9%からのアップ)

② 事業内容

(単位:千円)

成果目標	

/ 尹未四台					( -	<del>上</del>   元・     1)
項目	実施方法	H27事業実績		H27		H28
切口	天旭刀伝	1127 尹未天順	(当初)	(決算)	(当初)	
顧問による指導	直接	「顧問」による制度運営の指導及び助言(履	「顧問」による制度運営の指導及び助言(随時)			1,000
管理委員会の運営	直接	制度を統括する、長野県原産地呼称管理 催(3回)	242	93	242	
品目別委員会の運営	直接	ワイン・シードル・日本酒・焼酎・米の制度 回)	1,416	620	1,260	
品目別官能審査会の運営	直接	ワイン・シードル・日本酒・焼酎・米の官能の開催(延べ7回)	2,424	2,241	2,671	
度PR・認知度向上活動   直接   県内外での制度、認定品のPR活動(商談会、お披露   音の開催・参加)			3,593	2,705	3,455	
販路拡大の支援	委託	消費者向けの販路拡大活動の展開(物産展、メディアを活用したPR等)	19,655	19,655	_	
			合計	28,330	26,314	8,628

	Σ	区 分(単位:千円)		25年度	26年度	27年度	28年度
	1	前年度繰越 当初予算					
	予算			8,211	7,518	28,330	8,628
事	額		補正予算				
業	ì		合計(A)	8,211	7,518	28,330	8,628
^			一般財源	8,211	7,518	7,573	7,478
⊐	Aσ.		県 債				
_	財派	原	国庫支出金				
ス			その他	0	0	20,757	1,150
۲	決	決 算 額(B)		5,256	6,469	26,314	
	概 算人件費		職員数(人)	3.00	0.33	0.33	0.33
			概算人件費 (C)	24,774	2,725	2,731	2,731
	概算事業費(B(A)+C)		30,030	9,194	29,045	11,359	

成果目標の達成状況						
項目	H26末 (実績)		H28			
クロ		目標	成果	達成状況	目標	
県政モニターアンケート認 知度	37. 9%	40.0%	47. 2%	達成	50.0%	

目標に対 する成果 の状況

銀座NAGNOでの認定酒の披露目会をはじめ、東京・大阪・長野の酒メッセなど県内外でのPRを、製造事業者・販売事業者、制度委員会と連携して実施した結果、県民認知度を向上させることができた。

## 2 今後の事業の方向性

ı.	今後、事業
ı	フル、尹禾
Ŀ	をどのよう
П	とこのよう
П	にしていき
Ш	
ŀ	たいか

□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

従来からのPR活動に加え、全国植樹祭を始めとした大規模イベントの場を活用するとともに、関係団体や各部局との連携も強化しながら、消費者への認定酒の紹介や事業者への制度説明を行い、信州地酒の魅力の効果的な発信に努める。